

仕様書

件名：令和7年度 岩沼市特定健康診査等に関する集団健診業務（令和8年度実施）

1. 一般共通事項

1. 1 概要

本仕様書は、宮城県岩沼市（以下「本市」という。）において高齢者の医療の確保に関する法律及び健康増進法に基づく健康診査等の実施（以下「本業務」という。）に関する仕様を示す。

1. 2 適用

本仕様書は、本業務に適用する。なお、本仕様書に規定されていない事項については、監督職員と協議のうえ、当該協議結果を本業務に反映させること。

1. 3 履行場所

施設名	所在地
岩沼市保健センター	宮城県岩沼市桜二丁目8-30
岩沼西コミュニティセンター	宮城県岩沼市北長谷字内田90-1
勤労者活動センター	宮城県岩沼市三色吉字松150-1
玉浦コミュニティセンター	宮城県岩沼市恵み野二丁目3番地

1. 4 履行期間

自 契約締結日の翌日

至 令和9年3月31日

2. 一般事項

2. 1 一般事項

- （1）本業務の着手に先立ち、厚生労働省が作成している「特定健診・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き（第4.2版）」及び「健康増進事業実施要領」を十分に把握したうえで着手する。
- （2）本仕様書に規定する事項は、別に定めがある場合を除き、受託者の責任において履行する。また、結核・肺がん検診を同時に実施するため、当該検診の契約団体と調整を行い、本仕様書に規定のない事項であっても、履行上、当然実施すべき事項については受託者の負担において実施する。
- （3）すべての契約図書は、相互に補完する。ただし、契約図書間に相違がある場合の

優先順位は、次の (a) から (b) の順番とするが、あらかじめ監督職員と協議のうえ解釈する。

(a) 本仕様書

(b) 契約書

2. 2 用語の定義及び算定基準日

本仕様書において用いる用語の定義は次による。

- (1) 「監督職員」とは、契約の適正な履行を確保するために必要な監督を行う者をいう。
- (2) 「検査」とは、契約書に規定する完了検査をいい、本業務の完了の確認又は支払いの請求に関わる本業務の終了の確認をするために、契約書に規定する検査職員が行う検査をいう。
- (3) 「緊急対応」とは、台風、暴風雨、地震等の発生のおそれがある場合及びそれらの発生直後並びに各機器の不具合発生時に、臨時に行う保守等の対応をいう。
- (4) 本書に定める年齢は、いずれも令和 9 年 4 月 1 日時点を算定基準日とする。

2. 3 受託者の負担の範囲

- (1) 本業務の実施に必要な電気、水道等の使用に係る費用については、無償とする。
ただし、本市管理の公共施設外における本業務に必要な電気、水道等の使用に係る費用については、受託者の負担とする。
- (2) 本業務に必要な設備機器等は、本市で設置又は所有しているものを除き、受託者の負担とする。
- (3) 本業務に必要な消耗部品、材料等は、受託者の負担とする。

2. 4 関係法令等の遵守

本業務の実施にあたり、適用を受ける関係法令等を遵守し本業務の円滑な遂行を図るものとする。なお、これらに必要な届出がある場合には、監督職員と協議のうえ受託者にて処理を行うこと。

2. 5 業務実施計画書

業務責任者は、本業務の実施に先立ち本業務の詳細について監督職員と打ち合わせを行い、その結果に基づいた実施要領、実施体制、緊急連絡体制表等の様式、その他監督職員の指示する書類、並びに業務責任者等の資格を証する書類を取りまとめた業務実施計画書を 2 部（内 1 部返却用）提出し、監督職員の承諾を受けること。

2. 6 貸与資料

受託者等は、本市が所有する図面、取扱説明書等を使用することができる。ただし、本業務終了後は原状に復することとし、複写を要する場合には事前に監督職員と協議のうえ、監督職員の指示に従うこと。

2. 7 業務管理

- (1) 受託者等は、監督職員から安全に関する情報・指示があった場合には遅滞なく業務関係者に周知し、安全を図ること。
- (2) 受託者等及び業務関係者は、本業務において障害や安全上の問題等が発生した場合には遅滞なく監督職員に報告し、必要に応じて監督職員と協力し状況調査や原因究明及び適切な措置と再発防止策を実施すること。
- (3) 受託者等及び業務関係者は、本業務においてヒヤリハットに該当する事例や安全上問題のある箇所等、安全に関する情報を積極的に収集し、監督職員に書面をもって報告すること。

2. 8 服装等

業務関係者は、公共の場で本業務を履行する場合は、身分を明らかにするため身分証明書を携帯し、名札又は腕章等を着用して行うこと。なお、身分証明書及び名札又は腕章等の形式は、あらかじめ業務実施計画書に記載し、形式に変更があった場合は、速やかに監督職員に通知すること。

2. 9 関連業務

本市が実施する業務であって、本業務に密接に関連するものについては、監督職員の指示に従い、互いの工程進捗に支障のないように努めること。

2. 10 設備の重要度

本市における全ての設備は、市民への行政サービスに極めて重要な役割を果たしており、各設備の障害はその運用及び市民の日常生活に支障を与える可能性がある。このことから設備の重要性を十分認識するとともに、本業務の実施に際して運用に重大な影響を及ぼすことがないよう履行方法には、十分な注意を払うとともに障害に備えた体制で業務の実施に当たらなければならない。また、本業務の実施に際しこれら設備の運用に支障を来すおそれのある場合は、あらかじめ監督職員に連絡しその指示に従うこと。

2. 11 施設の賠償責任

受託者等及び業務関係者は、各設備又はその他の施設等を故意又は過失によって、破損・汚損若しくは滅失してはならない。万一これらを破損・汚損若しくは滅失した場合

は、その旨を速やかに監督職員に報告するとともに、受託者の負担において修復又は賠償すること。

2. 1 2 秘密の保持

受託者等及び業務関係者は、別記：個人情報取扱特記事項を遵守すること。また、検査結果は5年間保存管理し、本業務により知り得たすべての事柄について、本業務履行中及び本業務完了後においてもこれを他に漏らしてはならない。

2. 1 3 契約代金の算定方法

本業務は、別紙「令和7年度 岩沼市特定健康診査等に関する集団健診業務（令和8年度実施） 業務費内訳書」に記載のある項目毎の単価契約とする。

2. 1 4 契約代金の支払条件

- （1）委託業務の一部が完了し、かつその部分について5. に記載の検査を合格した場合には、当該部分の実績に応じた完了額（以下「一部完了額」という。）を請求することができる。
- （2）請求額の計上については、各項目単価に実施人数を乗じた額の合計金額から表1に示す自己負担金の徴収分を差し引いた金額で請求すること。また、請求書は健（検）診毎に分けると共に、貧血検査（特定健診分のみ）と血清クレアチニン検査については、詳細な基準該当者とそれ以外に分けて請求書に記載すること。
- （3）受託者は検査職員による検査合格の後、適切な請求書を監督職員に提出すること。なお、当該請求書を受領した日から30日以内に支払うものとする。

3. 業務内容

3. 1 業務の目的

本業務の目的は、高齢者の医療の確保に関する法律及び健康増進法に基づく健康診査を実施し、市民の健康増進保持に資することにある。

3. 2 業務の実施日等

（1）実施日及び会場

令和8年6月から7月にかけて、計23日間程度（内土曜日2回、日曜日1回、平日夜間実施日1回）、11月に連続して3日間程度（内土曜日1回）実施する。なお、詳細な日程及び会場は協議により決定することとする。
参考として次に令和7年度実施分を記載する。

【参考：令和7年度実施】

施設名	実施日
岩沼市保健センター	6月2日、3日、6日、7日、9日、10日、13日、15日～20日、23日、24日、27日、28日
勤労者活動センター	6月4日、5日
玉浦コミュニティセンター	6月11日、12日
岩沼西コミュニティセンター	6月25日、26日

(2) 受付時間

- ①午前の部 午前9:00～午前11:00
 - ②午後の部 午後1:00～午後3:00（平日のみ実施）
 - ③夜間の部 午後5:00～午後7:00（1日程度）
- （各部の受付終了時間は、混雑状況に応じて延長する場合がある。）
- ※準備・片付け作業の時間は別に設けるものとする。

(3) 日程変更

災害その他の事由により日程等の変更が必要な場合は、別途協議の上決定する。

(4) 結核・肺がん検診との調整

結核・肺がん検診を同会場で実施予定のため、当該検診の実施団体と調整を行い、実施すること。

3. 3 業務の概要

(1) 健（検）診の種類及び対象者

実施する健（検）診及び対象者は次のとおりとする。

- ①特定健診：40歳～74歳の岩沼市国民健康保険被保険者
（受診日当日に74歳の国保被保険者を含む）
- ②基本健診：19歳～39歳の希望者、40歳以上の生活保護受給者
- ③後期高齢者健診：岩沼市後期高齢者医療保険被保険者
- ④肝炎ウイルス検診：40歳～70歳で前年度までの未受診者
- ⑤前立腺がん検診：55歳、60歳、65歳、70歳の男性

(2) 業務内容

業務内容は本書の定めによるものとするが、検査項目等について加除が必要な場合は、互いに協議の上決定するものとする。

1) 各健（検）診共通の内容

- ①各健（検）診業務の実施
- ②各健（検）診実施における受付から終了までの業務
（検査機器類・会場の表示物の配置及び撤収、使用箇所の現状復旧・清掃等、
会場設営及び撤去に関する一切の業務、その他事業実施に必要な準備等）
- ③各健（検）診の自己負担金徴収
- ④各健（検）診の日報提出
（会場で健診終了後、本市が提示する様式に記載すること。）
- ⑤各健（検）診終了後、受診票未使用部分と生活保護受給証明書（A4）の提出
- ⑥その他、各健（検）診の円滑な実施に必要な事項（健診内容・注意事項の説明、
帳票記入補助及び説明、受診者の誘導、場内整理業務含む。）
- ⑦各健（検）診の受診結果通知作成及び封入封緘。受診結果の他に、本市が支給
する啓発資材も併せて封入すること。
- ⑧結果データの作成及び納品

2) 特定健診

- ①検査内容及び自己負担金は表1及び表2のとおりとする。
- ②厚生労働省「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準」、高齢者の
医療確保等に関する法律（昭和57年法律第80号）に基づき実施。加えて、
受診者全員に尿潜血検査、血清クレアチニン検査及び貧血検査、さらに50歳
男性のみ前立腺がん検査を本市が独自に追加検査する項目として実施する。

3) 基本健診

- ①検査内容及び自己負担金は表1及び表2のとおりとする。
- ②19～39歳と生活保護受給者を区別して本市に報告すること。
- ③受付の際は、受給証明書（A4）を受領・確認の上、受付する。

4) 後期高齢者健診

- ①検査内容及び自己負担金は表1及び表2のとおりとする。
- ②75歳以上と75歳未満の後期高齢者医療保険加入者で区別して本市に報
告すること。
- ③後期高齢者の医療の確保等に関する法律（昭和57年法律第80号）に基づ
き実施する。加えて、受診者全員に尿潜血検査及び血清クレアチニン検査を
本市が独自に追加検査する項目として実施する。

5) 肝炎ウイルス検診

- ①検査内容及び自己負担金は表1及び表2のとおりとする。
- ②健康増進法に基づき実施する。
- ③40歳の方に送る受診票を印刷し、印字対象者データと行政区毎の通数表
を納品すること。

6) 前立腺がん検診

- ①検査内容及び自己負担金は表１及び表２のとおりとする。
- ②検査を受けて、精密検査に該当した者が受診できる医療機関を準備し、その医療機関の受診の仕方について、資料を作成し、結果通知に同封すること。
- ③精検該当者の追跡調査を行い、未受診者に対し受診勧奨を行い、その結果を本市に報告すること。

７）受診票作成業務

- ①本市が提供する対象者データを基に前立腺がんを除いた各健（検）診の受診票を作成する。また、受診票を持参しなかった者に対し、当日その場で受診票を発行すること。
- ②特定健診、基本健診、後期高齢者健診については、本市が提供する封筒に封入及び封緘まで行い、岩沼市保健センターに納品すること。各健診毎の分類及び封入物の詳細については、次の【封入物一覧】のとおりとする。また、成果物は行政区毎に分け、行政区毎の通数を記載した表も併せて納品すること。

【封入物一覧】

健診名	封入物
基本健診 （３９歳国保被保険者以外）	①受診票、②日程表（本市支給）、③尿検査容器
基本健診 （３９歳国保被保険者）	①受診票、②日程表（本市支給）、③尿検査容器、 ④リーフレット（本市支給）
特定健診	①受診票、②日程表（本市支給）、③尿検査容器、 ④リーフレット（本市支給）
後期高齢者健診	①受診票、②日程表（本市支給）、③尿検査容器

- ③肝炎ウイルス検診の受診票については、４０歳該当者分を作成し、印字対象者データと共に指定期日までに本市が指定する納品場所へ納品すること。
- ④本市の指定する枚数分のblank用紙も納品すること。（本市にて追加申込み対応の際に使用する。）
- ⑤受診票発行に係る請求は、各健（検）診の請求書とは別に請求すること。
なお、各健診毎の内訳が明確になるよう記載すること。

【表１】検査内容

検査内容		備考
基本 項	問診 （服薬歴、既往歴、生活習慣に関する事項、自覚症状）	
	診察（理学的検査（身体診察））	

目	尿検査（尿糖・尿蛋白・尿潜血）	
	身体測定（身長、体重、BMI）	
	腹囲測定（後期高齢者健診は実施しない）	
	血圧測定	
	脂質検査 （中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール）	
	肝機能検査（AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP))	
	血糖検査（ヘモグロビン A1c）	
	血清クレアチニン検査	受診者全員に実施。 ただし、医師が判断した場合は 詳細な健診として扱う。
	採血料	
	貧血検査 （血色素量・赤血球数・ヘマトクリット値）	特定健診受診者全員に実施。 ただし、医師が判断した場合は 詳細な健診として扱う。
	心電図検査（標準 12 誘導）	医師が判断した場合は詳細な健 診として扱う。
	眼底検査（無散瞳カメラ・両眼撮影）	
	肝炎ウイルス検診（HBs 抗原及び HCV 抗体）	
	前立腺がん検診（PSA 検査、精密検査追跡業務）	

【表 2】健（検）診毎の検査内容及び自己負担金

健診名	検査内容	自己負担金
特定健診	基本項目：表 1 の基本項目に貧血を加える 詳細な健診※：心電図、眼底	基本項目：1,500 円 詳細な健診：無料（該当者）
基本健診	基本項目：表 1 の基本項目 詳細な健診※：心電図、眼底、貧血	
後期高齢者健診	基本項目：表 1 の基本項目（腹囲測定を除く） フレイルに関する問診 詳細な健診※：心電図、眼底、貧血	基本項目：無料 詳細な健診：無料（該当者）

※ 詳細な健診については、医師の判断により実施する。

健診名	検査内容	自己負担金
肝炎 ウイルス検診	HBs 抗原及び HCV 抗体	< 40 歳～70 歳の 5 歳刻みの者 > 無料 < 41 歳～69 歳で前年までの未受診者 >

		800円 <対象外> 2,900円
--	--	-------------------------

健診名	検査内容	自己負担金
前立腺がん検診	P S A 検査	<特定健診受診者で50歳の男性> 無料 <55歳～70歳の5歳刻みの者> 800円
	精密検査追跡業務	無料（精密検査該当者）

4. 報告書類等

4. 1 提出書類

提出書類については、下表による。

番号	書類名	提出時期	書類の内容
1	業務実施計画書	契約締結後 14日以内	業務に伴う実施計画、要領及び緊急時における処理等を取りまとめたもの
2	議事録等	随時	業務打合せの際の議事録
3	事故等報告書	速やかに	事故又は障害等が発生した場合の発生箇所、原因及び緊急対応等について取りまとめたもの
4	業務報告書	監督職員の 指示による	本業務の実施状況を取りまとめたもの
5	結果通数内訳書	各健（検）診 の結果通知 納品時	各健（検）診毎の結果通数の内訳を記したもの
6	その他監督職員が指示するもの		

4. 2 成果物

(1) 各健（検）診結果報告書

(2) 受診者への結果通知

結果書に必要な書類を同封し、封入までした状態で各健（検）診の種別に分けて結果通知を本市に納品する。ただし、特定健診は、保健指導該当者、保健指導該当

なし（情報提供）に分けて納品する。

（３）各種データ

下記データを会場毎の健（検）診終了後３週間以内に当該会場分を納品し、全健（検）診期間終了後に全体結果を成果品として本市が指定するデータ形式による記録媒体で納品する。

①結果通知書の控え及び各健（検）診結果データ

②保健指導者階層化データ

③集計データ（判定別・行政区別・詳細対象・自己負担・オプション）

（４）日報

下記健診毎の確定後の人数で報告すること。

１）特定健診

①４０～６４歳

②６５～７４歳

③７４．５歳（対象年齢基準日である令和９年４月１日時点では７５歳だが受診日当日時点では７４歳のため特定健診対象者となる者）

２）基本健診

①１９～３９歳

②４０歳以上の生活保護受給者

３）後期高齢者健診

①７５歳以上受診者

②７４歳以下受診者

（５）厚生労働省の定める電子的標準様式（「特定健診データの電子的管理のためのファイル仕様」に基づく電子データ（特定健診、後期高齢者健診））

※宮城県国保連合会に送付すること。併せて国保連合会へ提出したデータのコピーを本市に納品すること。

（６）「自治体健診に係る PHR への対応を踏まえた標準様式」（肝炎ウイルス検診）

（７）前立腺がん検診精検該当者受診結果報告書

（８）受診票

１）納入期限

①肝炎ウイルス検診（４０歳のみ）令和８年５月上旬

②特定健診、基本健診及び後期高齢者健診：令和８年５月中旬まで

２）納入場所：岩沼市保健センター

５．検査

本業務の検査は、本仕様書及び契約書の定めるところにより行う。なお、受託者は検査に先立ち、前記４．に規定する報告書類のほか、検査職員又は監督職員が検査のため

提出を求める本業務の成果を示す書類を用意する。